

4年 3組 21番氏名 橋詰 康平

「生活と地球を守る大切な仕事」
 洛西浄化センターを見学させて頂いて一番
 印象に残ったのは、下水の量の多さです。見
 学の前に、一日に一億五千リットルもの水
 が運ばれてくるというのを聞いて、想像も
 できないほどの量にとってもびっくりしました。
 見学がはじまり、最初に行った沈砂池では、
 やはり下水が最初に運ばれてくる場所なので
 臭いを感じました。そのような環境下でも仕
 事をして下さる方々の存在の大切さを痛感し
 ました。
 次に訪れた微生物が汚れを分解する池では
 空気を入れて微生物を活性化させ、汚れを分
 解させるという方法をとっていることを知り
 ました。また、下水をクローラーにつかっ
 てるといいうことを聞いておどろきました。微生
 物は二週間で死んでしまいますが、その死が
 いなかでセメントの原料になったりするので、
 浄水センターでは水をきれいにするだけで
 なく、再利用にも取り組まれており、環境へ

の優しきにも配慮されている工夫があること
 にもおどろきました。
 汚泥を濃縮して脱水することによって作ら
 れる脱水ケーキは、燃やすとセメントの原料
 になり、蒸すと炭となつて火力発電所の燃料
 になるといふことも学びました。
 浄化センターで行われている作業の全てに
 は無駄が何一つなく、僕たちの未来の地球環
 境を意識して資源を大切にし、再利用して下
 さつていることをとてもありがたいと思いま
 した。
 最後に見学した塩素混和池では、最終的に
 川に水を放流する前に、塩素を使うことによ
 って、大腸菌を殺菌していただきました。もし、大
 腸菌などが水に含まれていたら、川や海に住
 む生き物にも影響を及ぼしてしまう可能性が
 あり、もしそのような事になつてしまつと生
 態系が破壊されてしまい、自然破壊にもつな
 がる危険性が予想できるので、僕は、この最
 終行程がとて大切な役割を担っているのだと

4	年
3	組
21	番氏名はし
橋詰 康平	

